

CKJSだより

第64号

校長 松平 昭二

shoji_matsudaira@hotmail.co.jp

他人の気持ちも考えて

台風が日本に近づく時期になると、その進路がテレビで放送されます。東京にいるとき、私もよくこの放送を聞きました。でも、どこかおかしいのです。それは、テレビがしきりに放送するのは東京の付近に近づいたところまでだからです。東京を台風が通り過ぎると、どこも放送をやめてしまいます。これから台風が近づいてくるという東北の人たちのことは、少しも考えていません。これはおかしいと思うのです。

テレビばかりではありません。私たちの心にも同じことがあります。台風が関東の方に近づいてくるとひと騒動しますが、途中で「台風は東京を避けて、中部地方から日本海に抜ける模様です」と放送されると、「よかった、よかった、これで安心して寝られるぞ」と喜んでしまいます。

確かに、自分のところに台風が来なかったのはよかったのですが、その反対に台風が進路を変えてやってくることになった中部地方の人にとっては、たまったものではありません。自分たちにふりかかる災難が、他の人に置き換えられたからといって喜んでいいのでしょうか。

こんな考え方を「自分勝手な考え方」「わがままな考え方」といいます。台風が避けてくれた自分たちの無事を喜ぶと同時に、これから災難を受ける中部地方の人たち、または東北の人たちのために、少しでも災難が少なく、無事であることを心からお祈りするというのが、人間としての心のもち方だと思います。



「自分だけよければいい」という気持ちではなく、周囲の人、他の人の気持ちをいつも考えるよう心がけたいものです。「思いやり」とは、そういうことだと思います。そして、その「思いやり」に支えられて、本当の仲間、友達ができていくのです。

英語の **cure** は「治療する」という意味ですが、その語源はラテン語の「思いやり」からきているそうです。英語では、「思いやり」「世話をする」「心配する」というときに **care** という語を使いますが、そう言えば、この二つは綴りもよく似てますね。「思いやり」こそ、最良の「治療」。この二つの言葉を見て、そんなことを考えさせられました。

※ 今週から個別懇談会が始まります。短い時間ですが、有意義な話し合いが行われることを願っています。なお、今週と来週の**下校時間は 13 時 20 分**となります。お迎えよろしくお祈りします。